

# 潮かぜ

うしおかぜ

<https://yorii.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立寄居中学校 学校だより

令和7年10月21日（火）発行

教育目標

【生きがい 思いやり 自治の力】

## 前期終業式での校長先生のお話



今日で前期が終了します。みなさんの前期の学校生活はどうだったでしょうか？

私が前期で印象深く残っているのが体育祭です。準備や本番の皆さんの頑張りももちろんですが、一番は元気に返事を返してくれる場面が多かったことです。とりわけ、3年生が全校を引っ張ってくれたことがうれしかったです。学校は最上級生がしっかりすると、下級生が3年生の背中を見て行くことによって、全体にまとまりが生まれてきます。3年生はきっとこれからしっかりと学校生活を送ってくれると思います。1・2年生は、3年生を見習い、より良い寄居中学校が作れるようにしていきましょう。

さて、今日の話です。

のび太君としづかちゃんが結婚して10年、二人は仲良く暮らしていました。ある日しづかちゃんが、最近めまいがするということで、病院に行くことになりました。病院から戻ったしづかちゃんは「私は10万人に1人しかからない病気で、現代の医学では治療法がない難しい病気なんだって。このままだと、近いうちに寝たきりになり、すぐに死んでしまうかも知れないとお医者さんから言われた」と言って、のび太君の前で突然泣き崩れました。激しく動搖したのび太君でしたが、あることをひらめきます。「現代では治せない病気でも、未来なら治せるかもしれない。」そうだ、こんな時こそドラえもんに頼んでみよう。

さっそくのび太君はドラえもんに頼み、新たな治療法を求めてタイムマシンで未来へ向かいました。未来に着くとしづかちゃんの病気の治療法があるのかどうか調べました。すると、未来の世界ではしづかちゃんの病気を治す特効薬が存在したのです。この特効薬を使えばしづかちゃんを助けられると大喜びしたのび太君でしたが、大きな大きな問題に直面します。それは、薬の金額のことです。どうやら、薬の研究開発に膨大な時間と労力がかかったそうで、のび太君が一生働いても返せないくらいの、高額な費用が必要であることがわかりました。

せっかく未来に来たのに、しづかちゃんを救うことができないのか。のび太くんは絶望しました。どうしたらいいか思い悩んでいたときに、のび太君の心の中のスネ夫の顔をした悪魔が、こうささやきます。

「薬を買うことができないのなら、薬を盗めばいいんじゃないかな。人一人の命を救うためなんだから・・・」

すかさずのび太君の心の中のジャイアンの顔をした天使がこう言います。

「いくら人の命を救うためとはいって、盗むのは絶対良くない」

のび太君の心の中のスネ夫悪魔とジャイアン天使が戦います。そうこうしていくうちにどんどん時間は過ぎていきます。

さあ、ここで皆さんがドラえもんなら、のび太君にどうアドバイスしますか。三日間の休みの間に考えてみてください。友達とでもいいし、家族とでもかまいません。いろいろな人の意見を聞いて、自分の考えをまとめてください。この物語の続きは、休み明けの集会で話します。終わります。

## 後期始業式での校長先生のお話

本日より後期が始まります。新たな節目のスタートということで、心新たに学校生活をスタートしましょう。それでは前期終業式での話の続きです。

しづかちゃんを助けるために薬を盗みに入るか、それともしづかちゃんの命を諦めるか？どうしたらいいのかのび太君は考えがうまくまとまりません。そこで準備だけは進めることにしました。目立たない服装、盗みに入るための道具や逃げるための車を準備しました。

辺りが暗くなった夜遅く、のび太君は薬がある薬局に向かいます。薬局に着くと、のび太君の心の中のスネ夫の顔をした悪魔がささやきます。

「しづかちゃんの命のためなんだ。悪いことではあるが、命には代えられない！はやいとこ盗んじゃえ」

すると、のび太君の心の中のジャイアンの顔をした天使がこうささやきます。

「本当にいいのか？人のものを盗むというのは犯罪だぞ。そんなことをするなんて、心まで悪魔になっていいのか？」

のび太君は盗みに入るのをためらっていました。薬局の前で悩みに悩みましたが、結論が出ず、薬局の前で動けずにいると、後ろに人の気配がします。慌てて振り返ってみると、そこにはしづかちゃんとドラえもんが立っていました。

「のび太さん。」しづかちゃんはこう叫びました。

「どうしてここに？」というのび太君に対して、しづかちゃんはこう言いました。

「実は、私の病気は仮病なの。健康だから心配しなくても大丈夫。でも、最近ののび太さんの様子で気になることがあったから、ドラえもんに相談して今回の件を思いついたんだ。」と話しました。そしてドラえもんが話を続けます。

「最近ののび太君は少し変だよ。やたら『死ね』だの『殺す』だのの言葉が多いと思う。それから法律違反していることもあるんだよ。この前、『SNS で面白そだからデマを拡散した。』って言ってたよね。あれは信用毀損罪という罪にあたるかもしれないんだよ。」

「だから、命を尊重することと、法律を守ること、どちらも大切なことだから、それについて考えてほしかったから一芝居打ってもらったの。」しづかちゃんが続けました。

のび太君は少し考えた後、こう話しました。

「大事な大事なしづかちゃんが死んでしまうくらいなら盗んででも助けたいとも思った。でも、犯罪を犯してまでして盗んだ薬で助かったと知ったしづかちゃんはどう思うだろうかとも考えた。しづかちゃんならきっと、盗んだ薬だと知ったら悲しむんじゃないだろうか。僕も、盗んだ薬でしづかちゃんの病気が治っても、心の底から喜べるのかなと思っていた。でも、助ける方法はあるのだからたった一つしかないしづかちゃんの命をなんとしても救いたかったのも事実だ。本当に悩んだよ」と語りました。

「のび太君、今回の考えはどちらも大切なことだよね。今回はどちらも正しいといえるし、どちらも正しくないとも考えられる。だから、正解はないんだ。ただ、命を守ることと法律を守ること、どちらも大切なことだから、真剣に考え行動しなきゃダメだよね。」と、ドラえもんがにっこり微笑んでのび太君に話したのでした。

さあ皆さん、今回の話を聞いてどう思ったでしょうか。これから長い人生の中で、のび太君のような決断を迫られるときがあるかもしれません。そうなった時に、自分がどう判断し行動するか、よく考えていくようにしましょう。

## 寄居中学校の学習状況について ～令和7年度全国学力・学習状況調査より～

令和7年4月17日に中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果をもとに、寄居中学校の学習状況について分析を行いました。その結果をお知らせいたします。

### 1 全国学力・学習状況調査（国語・数学）の結果より当校の学力実態

※数値：平均正答数／問題数（平均正答率）

	寄居中学校	新潟県	全国
国語	8.4/14 (60.0%)	7.6/14 (54.3%)	7.6/14 (54.3%)
数学	9.4/15 (62.7%)	6.8/15 (45.3%)	7.2/15 (48.0%)

### 2 分析

※顕著なものを、成果は○、課題は●で示しています。

#### ① 国語

○すべての設問の正答率が、県・全国に比べて上回っています。

○記述式の問題は、全体的に無回答が多くなりがちです。寄居中も無回答者がいるものの、県・全国に比べると低く、頑張って取り組もうとする姿が見られました。

●「言葉の特徴や使い方に関する事項」の分野の漢字の書き取り問題と、「話すこと・聞くこと」の分野の「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるかどうかをみる」という問題の正答率が、県や全国より若干低かったです。

⇒<手立て> 最近、漢字を使わずに文を書く生徒が増えているように感じています。また、言葉の知識（慣用句・ことわざなど）が乏しい生徒もいます。日頃から手書きで文を書く機会を増やし、その中で漢字を正しく使い、語彙を増やしていく取り組みをしていきます。

#### ② 数学

○すべての設問の正答率が、県・全国に比べて上回っています。

○特に図形領域で正答率が高く、平行四辺形の性質を理解し、それを用いた証明が全国の正答率に比べて高い結果となりました。また、必ず起こる事柄の確率についての理解が高く、事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができました。

●数と式の領域の正答率が、他の領域と比べると低い結果でした。

⇒<手立て> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりできるよう、数の概念について理解を深め、できるだけ多く身近な事象を扱ったり、問題演習に取り組んだりしていきます。

## 体育祭のスナップ



1学年種目 ぐるぐるタイフーン



2学年種目 バンブーサーフィン



3学年種目 ダッシュ玉入れ



全校種目 大玉送り



全校種目 綱引き



応援合戦 黄連合



応援合戦 赤連合



応援合戦 青連合